# 令和2年度地域再生計画(拠点整備交付金)に係る KPI 等達成状況報告

計画名	①風土を生かしみんなで育て未来に繋ぐ東近江農業活性化計画 【令和2年度終了】									
 所 管 課	農業水産課									
2 ***	KPI① 施設の売上額(千円) KPI② 施設の利用(買上)客数(人) KPI③ 長期保存食品の加工品販売額(千円)									
重要評価 指標(KPI)	KPI 事業開始前	H28 目標値 (実績値)	H29 目標値 (実績値)	H30 目標値 (実績値)	R1 目標値 (実績値)	R2 最終目標値 (実績値)				
	① 706,175	706,175 ( — )	706,175 ( — )	726,175 (699,495)	749,175 (685,846)	776,175 (669,947)				
	2 551,555	551,555 ( — )	551,555 ( — )	581,555 (709,050)	596,555 (674,480)	606,555 (615,459)				
	3 1,716	1,716 ( — )	1,716 ( — )	2,216 (1,973)	3,216 (3,577)	3,716 (3,682)				
交付金額	59,552,652 円									
交付金事業 実 績 (H29 実施)	れる農産品や農業自体を売りとした「ブランド化戦略の確立に資する収益施設」及び「観光施設」として機能強化する。 ①本館 企業等の関係者間の強固な連携の下、地域農産物のブランド化や観光、体験農業、就農支援等をワンストップで総合的にマネジメント・発信する組織の拠点として利活用するための施設整備②ラプティ(ショップ) 地域食材の活用拡大を図るショップの改修 ・設計監理業務 3,714,000 円 【工事費】									
	(1)建築工事 45,474,480 円 (2)電気設備工事 27,504,360 円 (3)機械設備工事 30,407,400 円 【効果促進事業】 ・ブランド品加工機器導入 8,520,972 円 〇真空凍結乾燥機 〇予備凍結用フリーザ 〇スムージーブレンダー製氷機 ・特産品体験機器等導入 1,825,212 円									
	○電気式ピザ釜 ○ピザ釜用置台 ○業務用コールドテーブル冷蔵庫 ○管理機 ・ブランド加工促進備品導入 640,440 円 ○ビュッフェウォーマースタンド ○クールプレート ・浄化槽整備 1,018,440 円 合 計 119,105,304 円(補助率 1/2 59,552,652 円)									
現状、課題及び 取組状況	空乾燥機については、引き続きラプティにおいて約8種類の農産物をフリーズドライし、ケーキや焼き菓子などに活用しているが、量産ができない点と高糖度の粘度、吸湿しやすいという側面があり、実									

	用は限定的な状況である。また、地元のハーブ生産農家が数種類のハーブをフリーズドライし、ハーブティー用として試作したところ、品質は非常に良いものができたが、やはり量産できないのと製造コ
	ストが高くつくため販売までは至っていない。
	ピザ釜およびスムージーブレンダーに関しては、2020年2月以降新型コロナウイルス感染拡大の影
	響により体験教室を開催できておらず、また、営業許可を取得してテイクアウト型の店舗を開業する目
	論見をしていたが、こちらについても頓挫している状況である。
	レストランについても、ビュッフェの来客に、機器の有効活用はしているが、同じくコロナウイルスの
	影響で客数売り上げとも 2019 年度比で半減してしまった。(売上高 11,590 千円)
今後の方針	真空乾燥機はラプティでの使用に加え、ハーブティーでの利用をヒントに水分量も少なく、糖度も低い農産物で試作し、地元農家への貸出し利用も視野に検討していきたい。
	ピザ釜及びスムージーブレンダーはコロナの収束後にテイクアウト型店舗の開業を再度検討した
	l√°
評価結果	

※KPIの目標値は、交付申請時の数値です。

# 令和2年度地域再生計画(拠点整備交付金)に係る KPI 等達成状況報告

事 業 名	②中心市街地古民家再生活用プロジェクト									
所管課	中心市街地整備課									
交付金額	17,946,446 円									
	KPI① 施設入居テナントの売上額(年間)(千円) KPI② 施設近傍の本町商店街の平日歩行者自転車通行量(人) KPI③ 八日市駅周辺及び商店街での新規出店事業者数(店)									
重要評価 指標(KPI)	KPI	事業開始前	H29 目標値	H30 目標値	R1 目標値	R2 目標値	最終目標値			
	1	0	(実績値) 0 (0)	(実績値) 20,000 (32,846)	(実績値) 21,000 (58,761)	(実績値) 22,000 (32,333)	(R3) 23,000			
	2	772	772 (742)	792 (744)	812 (878)	832 (新型コロナウ イルス感染症 の影響で実施 せず)	852			
	3	0	0	3	6	9	12			
交付金事業 実 績 (H29 実施)	0 3 6 9 12									
現状、課題及び	整備した拠点施設(通称: HON6GARDEN)をサブリースの方式で一般社団法人八日市まちづくり									
取組状況	公社(まちづくり会社)に賃貸し、テナント事業者を募集したことで飲食店が3店舗出店している。									

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い来 街者や飲食機会の減少など飲食店にとって苦境に立 たされる年であった。このような中で、3店舗とまちづく り公社よる継続したテナント会議の開催、テナントによ る合同での広報活動、テイクアウトの推進、感染対策 の徹底などコロナ禍の中で連携及び工夫を重ねながら 営業活動を行っている。また、開業2周年を迎えた中で は、限定ランチを提供するなど可能な範囲で賑わいの 創出に向けた取組を実施している。





一方で、出店店舗の内1店舗がステップアップを目

指して3月で閉店された。これを新たな展開に向けた機会として捉えHON6GARDEN全体の賑わいをさらに向上させるべく、出店希望者を募集し、候補者が決まった。新たな店舗は、令和3年度6月上旬頃にオープンすることが予定され、HON6GARDENの一層の飛躍が期待されている。

当面の課題は、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中でいかに交流拠点の役割を果たしていくのか、アフターコロナを見据えながらイベントだけではない日常的な賑わいを創出していくことである。

#### 【テナント会議】

4./9, 5/14, 6/10, 7/9, 8/6, 9/10, 10/8, 11/11, 12/10, 1/14, 2/18

### 【共通イベント】

11/5~9 2 周年記念事業(おまかせランチの提供)

#### 【出店者募集期間】

2/18~3/12

## 今後の方針

まちづくり会社や商工会議所等と連携してコロナ禍の中で取り組める事業を企画・運営していくとともにアフターコロナを見据えた施設運営を推進していく。また、若い世代への訴求を目的としたSNS等を活用した広報を行い、さらなるHON6GARDEN及び中心市街地への来訪につながる取組を進めていく。加えて当拠点だけでなく、中心市街地エリア全体を考え空き店舗の活用や屋外を活用したオープンカフェの取組等を実施していくことで、商業機能の向上とまちなかの賑わいを生み出し、中心市街地の再生を図る。

事業者のテナント賃料から得る収益は、中心市街地のまちづくりに再投資し、民間事業者を中心に 事業が展開されるような仕組みづくりを引き続き進める。

### 評価結果

※KPI の目標値は、交付申請時の数値です。